

登 録 速 報

農 薬 名：サンダーボルト007（登録番号：第 21072 号）（日本農薬(株)登録）

適用拡大登録月日：平成26年11月5日

適用拡大登録内容：

- 作物名の変更：果樹類（ｷｬｲﾌﾙｰﾂ、ﾊﾟｲﾝﾌﾙを除外）⇒
果樹類（かんきつ、ｷｬｲﾌﾙｰﾂ、ﾊﾟｲﾝﾌﾙを除外）、かんきつ
- 本剤の使用回数変更：小麦/1回⇒2回以内
- グリホサートを含む農薬の総使用回数変更：かんきつ/3回以内⇒5回以内
- 使用時期の追加：小麦/は種後出芽前（雑草生育期），400～600mL/10a
だいず/畦間処理：雑草生育期（草丈30cm以下）但し、収穫前日まで
- 使用量(薬量)の変更：ｽﾍﾞﾅ/ 1000～2000mL/10a⇒1000～4000mL/10a
- 使用量(薬量)の変更：果樹類（かんきつ、ｷｬｲﾌﾙｰﾂ、ﾊﾟｲﾝﾌﾙを除外）、
かんきつ/400～600mL/10a⇒400～1000mL/10a

【変更・追加】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンイフルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
果樹類 (かんきつ、ｷｬｲﾌﾙｰﾂ、ﾊﾟｲﾝﾌﾙを除外)	—	一年生及び多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	400～1000 mL/10	100L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内	3回以内
かんきつ								5回以内	

【変更・追加】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンイフルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
小麦	—	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草生育期)	400～600 mL/10a	100L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	3回以内	2回以内
			耕起前						

		多年生 雑草	(雑草生育期)	500～ 1000 mL/10a					
だいず		一年生 雑草	畦間処理： 雑草生育期 (草丈30cm以下) 但し、収穫前日 まで	400～ 600 mL/10a			4回以内	4回以内	
			は種後出芽前 (雑草生育期： 草丈30cm以下)						
			耕起前または は種10日前ま で(雑草生育 期：草丈30cm 以下)						
樹木等	公園 庭園 堤とう 道路 運動場 宅地 鉄道の り面 等	一年生 及び 多年生 雑草	雑草生育期 (草丈50cm以下)	500～ 1000 mL/10a	3回以内	植栽地 を除く 樹木等 の周辺 地に雑 草茎葉 散布	3回以内	3回以内	
		スギナ	雑草生育期 (草丈30cm以下)	1000 ～ 4000 mL/10a					

注意事項の変更：

【変更前】

- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布すること。

【変更後】

- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布すること。
- また、スギナの再生を長期間抑制したい場合には、薬量を 3000～4000mL/10a に設定することが望ましい。

【追加】

- 作物の出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生ずる恐れがあるので、必ず出芽前に散布すること。
- 生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないよう十分注意して散布すること。
- 多年生雑草およびツユクサ科雑草を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用すること。

以 上